公の施設指定管理者実績報告（平成 23 年度）の調査結果について

1　実績報告の調査結果概要

公の施設指定管理者実績報告の調査は，指定管理者が行っている管理運営が，効果的・効率的であり，市民の利便性の向上が図られているかを点検することにより，今後の管理運営をより適正に継続させるとともに，調査結果を公表することで，管理運営の透明性を確保することを目的として行っています。

この報告は，指定管理者から施設所管課へ提出された平成 23 年度事業報告書等（平成 23 年度に制度導入済の 20 施設分）により，その管理運営状況を点検・評価のうえ，施設所管課において作成された指定管理者実績報告書を取りまとめたものです。

平成 23 年度実績を総括すると,東日本大震災の影響による利用者の減少があった施設がありましたが,施設の収支状況や活動状況は,多くの施設において評価できる内容となっていると言えます。

東日本大震災の影響が残る状況の中，魅力あるサービスの提供や，効果的なＰＲ活動を行った施設においては，十分な集客効果がありました。

収支状況については，利用者の減少による収入減はあったものの，概ね計画どおり支出する一方で，削減できるものは支出を抑制するなど効率的な運営がなされました。

市の支出においても，指定管理者からの提案により指定管理料を減額した施設や，効率的な運営により年度内に指定管理料の減額協定を結んだ施設があり，指定管理者制度導入による効率面での効果がありました。

また，利用者の声の把握に努めた住民サービスの向上が図られ，積極的な新規サービスの企画，外部団体との連携によるイベント等の実施など，施設の設置目的達成のための効果的な事業展開がなされました。

笠間市において，指定管理者による施設の管理運営は，全体的に安定している状況にあり，民間への管理運営業務の移管が円滑に行われているものと評価できます。一方で，指定管理者による管理運営により，施設の設置目的の達成にどの程度成果があったのかを適切に評価し，さらなる改善を図ることができる体制を確立することが，今後の制度運用上の課題となります。

2　各施設の実績概要

指定管理者制度導入方針の事業の評価に関する項目に基づいて，事業の評価の視点ごとに実績をまとめています。各施設の実績概要は以下のとおりです。

※　詳細は，別添「公の施設指定管理者実績調査結果（平成 23 年度実績）」参照のこと。

○事業の評価の視点
①有効活用に関する項目
・施設利用者に関すること
・適正かつ公平性の確保された管理運営の強化
②効率的運営に関する項目
・管理運営経費に関すること
③活動状況に関する項目
・自主事業に関すること

（１）笠間市民体育館など 6 施設について

〔有効活用〕

・東日本大震災の影響により，笠間市民体育館が閉鎖（平成 24 年度中に災害復旧工事等を実施予定）となったことにより，利用者数は大きく減少しましたが，笠間市民体育館以外の施設においては，岩間総合運動公園を除くすべての施設において利用者数が増加しました。

〔効率的運営〕

・事業収支については，当初計画を上回る人件費，消耗品費，修繕費の増加が影響し，赤字となりました。なお，笠間市民体育館が震災により閉鎖となったことから，指定管理料の減額が行われました。

〔活動状況〕
・各種スポーツ大会や教室を開催し，スポーツ振興に寄与しました。
・スポーツ教室の開催に当たっては，アンケート結果における利用者の要望を反映した内容とすることで，好評を得ました。
・笠間市民体育館にて実施していたスポーツ教室を，笠間市総合公園管理棟にて実施することで，サービスの維持に努めました。

（２）北山公園について

〔有効活用〕
・東日本大震災の影響により，さくら祭りが中止となったことから，4 月の利用者数が大きく減少したことが影響し，年度利用者数も大きく減少する結果となりました。また，ローラー滑り台の使用が停止（平成 23 年 11 月復旧）となったことも利用者の減少の原因となりました。
〔効率的運営〕
・過去の実績から指定管理料の減額提案があり，平成 23 年度は指定管理料を減額しましたが，効率的な運営のもと，収支のバランスがとれました。
・売店収入は，目標額は達成できなかったものの，利益率は改善されました（今年度 20%，前年度 17%）。
〔活動状況〕
・危険・無理・無駄のない効率的で安全な作業の実施と質の高い管理の実現を図るために，施設の維持管理に係る「北山公園作業手順書」を作成しました。
・平成 22 年度に好評を得たホタルの鑑賞会を，平成 23 年度もゲンジボタルの里づくり実行委員会と共同で主催するとともに，ホタルの生態系保全についても共同で整備に当たりました。

（３）笠間市いこいの家「はなさか」について

〔有効活用〕
・東日本大震災の影響で，ゆかいふれあいセンター（笠間・水戸環境組合管理施設）が閉鎖となったことにより利用者の流入があったことも影響し，利用者数が大きく増加しました。
〔効率的運営〕
・利用者の増加により，利用料収入が増加しました。
・館内の節電による経費の縮減に効果がありました。
・概ね計画どおり経費の支出がなされ，収支は実質黒字となりました。
〔活動状況〕
・施設の維持管理状況について，多数の利用者から一定の評価を得ました。

（４）あたご天狗の森スカイロッジについて

〔有効活用〕
・利用者数については，平成 23 年度目標値の 101.0%（前年度比 103.4%）を達成しました。
〔効率的運営〕
・収支計画に沿った計画的な収支結果となりました。
〔活動状況〕
・好評だった宿泊プランの継続や，積極的な新規宿泊プランの企画や利用者向けサービスの実施など，稼働率アップに向けた事業展開及び近隣自治体での営業活動がなされ，収入増，利用者増につながりました。

（５）笠間クラインガルテンについて

〔有効活動〕
・宿泊施設付き市民農園及び日帰り市民農園とも，平成 22 年度に続いて，全区画（各 50 区画）の利用が達成されました。
・農園施設以外の利用者数は大きく減少しました。
〔効率的運営〕
・農園施設以外の収入は減少したものの，経費の縮減が図られ，収支は黒字となりました。

〔活動状況〕
・農園利用者と地域住民との交流を促進するため，栽培講習会や各種イベントを開催し，多くの参加者を得ました。一方で，農産物販売に係るイベントは，利用者増（収入増）につながりませんでした。
・農協観光との連携による農業体験ツアーの開催や笠間観光協会との連携による「笠間発見伝・そば打ち体験」の受入れの実施など，外部組織と連携した事業を実施しました。

（６）笠間工芸の丘について

〔有効活用〕
・北関東自動車道の全線開通効果やＢ級グルメのイベント(「Ｂ級ご当地グルメサミット in 笠間」，笠間芸術の森公園にて開催）の集客効果により，利用者数は増加となりました。
〔効率的運営〕
・利用者数の増加相応の売上増加にはつながらず,販売費及び一般管理費の減少はあったものの，営業損益は損失となりました（平成 22 年度より 60.8％改善はしている)。
・収支は，東京電力株式会社からの損害賠償金を収入したことにより，黒字となりました。
〔活動状況〕
・物販部門では，商品構成や品揃えを工夫し，話題作家の企画展の開催を行うなどの販促を行ったことで，売上増につながりました。
・工房部門では，陶芸体験の学校への出張体験の実施や，県内小学校，幼稚園，保育所に対する利用案内の送付により利用者の拡大に努めたものの，体験者の減少傾向を改善するには至らず，売上も減少しました。

（７）駐車場施設について

〔有効活動〕
・利用者数の逓減傾向が続いています。
〔効率的運営〕
・指定管理料は，主に人件費相当分となります。
〔活動状況〕
・社会基盤施設として適正な管理がされました。

（８）笠間市障害福祉センターについて

〔有効活用〕
・利用者数に大きな増減はありませんでした。
〔効率的運営〕
・経費の削減により，年度協定締結時の指定管理料を，変更協定により減額しました。
〔活動状況〕
・作業訓練，生活訓練など安定したサービスを提供できました。
・年間をとおしてコンスタントに業務を受注でき，障害者の就労の場を提供できました。
・利用者やその保護者との連絡を密にすることで，個別具体の対応に努めました。

（９）笠間市地域福祉センター「笠間市友部社会福祉会館」について

〔有効活用〕
・土日祝祭日の開館により稼働日数が増えたことで，より多くの利用者に活用されました。
〔効率的運営〕
・効率的な管理運営実績により，指定管理料の協定額を平成 22 年度，平成 23 年度とも前年度より減額しました。
〔活動状況〕
・地域福祉活動の拠点として，適切に運営及び維持管理しており，利用者アンケート結果からも必要な機能が概ね提供できているとの評価を得ました。

（10）笠間市福祉センター「いわま」について

〔有効活用〕

・ゆかいふれあいセンター巡回バスの運行休止により，全体の利用者数は減少しているが，一般開放及び施設開放に係る利用者数が大きく増加しました（平成 22 年度実績：339 人，平成 23 年度実績：748 人）。

〔効率的運営〕

・経費の削減により，年度協定締結時の指定管理料を，変更協定により減額しました。

〔活動状況〕

・一般開放日に実施した手打ちそばの提供（平成 22 年度開始）が引き続き好評を得ました。
・ゆかいふれあいセンター巡回バスの運行休止により，当該事業実施日を施設開放日として利用者の受入れを実施しました（実績：157 人）。

公の施設指定管理者実績調査結果（平成２３年度実績）

施設の名称	施設所管課
①笠間市民体育館 ②笠間市岩間総合運動公園 ③笠間市笠間武道館 ④笠間市岩間海洋センター ⑤笠間市総合公園 ⑥石井街区公園	スポーツ振興課
	指定管理者
	（株）日立ライフ（公募）
設置目的	**指定期間**
市民の体育，スポーツの振興を図るとともに，体育，スポーツ以外の各種行事，集合等に使用すること。 市民の体育向上と心身の健全な発展を図り，かつ，スポーツレクリエーションを振興すること。　など	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで （平成 20 年 4 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	122,599 人	87,443 人	△28.7
市民球場	7,720 人	8,000 人	3.6
多目的広場	5,601 人	6,329 人	13.0
芝生広場	0 人	2,685 人	-
テニスコート	7,880 人	9,363 人	18.8
管理棟会議室	952 人	3,407 人	257.9
海洋センター	18,839 人	20,387 人	8.2
海洋センタープール	2,486 人	3,097 人	24.6
岩間総合運動公園	17,323 人	14,672 人	△15.3
市民体育館	45,631 人	0 人	△100.0
笠間武道館	16,167 人	19,503 人	20.6

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22 年度 金額（円）	23 年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	63,190,000	61,070,000	△2,120,000	△3.4
利用料等	5,855,407	4,991,979	△863,428	△14.7
収入計	69,045,407	66,061,979	△2,983,428	△4.3
（支出）				
管理運営経費	70,848,886	68,192,422	△2,656,464	△3.7
支出計	70,848,886	68,192,422	△2,656,464	△3.7
収支	△1,803,479	△2,130,443	△326,964	18.1

※利用料金制度導入

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・利用者サービスの向上については，ゴミの無い施設環境に努めることができた。
・公園施設の維持管理については，日常点検，定期点検，精密点検を実施した。
・修繕については，利用者の安全を最優先に実施した。
・植栽維持管理については，芝生広場の芝の部分張替えを行い，養生期間を設けて利用制限を行った。
・スポーツに関する振興業務については，グラウンドゴルフ大会，ターゲットバードゴルフ大会を開催した。
・災害時，緊急時の対応については，緊急連絡・緊急体制を強化し，余震時の避難誘導を実施した。

利用者の声【利用者の評価について】

・スポーツ教室参加者の要望・意見が多数あった。
　（開始時間の要望，継続開催要望，通年開催要望，楽しかった・来年も参加したいといった旨の感想等）
　⇒昨年度新規に開催した教室を通年で開催するなど，要望に応えた。
・海洋センターグラウンド（Ｃ及びＤグラウンド）に手洗い場を設置の要望があった。
　⇒要望に応じ，設置した。

施設所管課の総評

・施設の維持管理と安全確保に努め，適切な管理運営を実施している。
・施設の利用許可に当たっては，公平で平等なサービスの提供が行われている。
・利用者アンケートを実施し，利用者のニーズを把握したうえで，利用促進に向けた対応がなされており評価できる。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市総合公園など６施設		
施設所在地	笠間市箱田８６７番地１外		
施設概要	笠間市総合公園（市民球場，芝生スポーツ広場，多目的広場）， 笠間市民体育館，笠間武道館，石井街区公園， 笠間市岩間海洋センター，笠間市岩間総合運動公園		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	135,977　人	122,599　人	87,443　人
年間稼動日数	305　日	305　日	306　日
事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	63,190,000	63,190,000	61,070,000
利用料	3,711,930	3,748,997	3,703,305
事業収入	1,842,500	2,101,500	1,285,000
その他収入	5,935	4,910	3,674
収入計	68,750,365	69,045,407	66,061,979
人件費	21,365,648	26,064,535	26,524,458
消耗品費	1,356,839	1,168,549	1,396,750
燃料費	301,174	394,904	364,911
印刷製本費	153,615	90,825	602,700
光熱水費	8,491,150	9,958,998	8,257,708
修繕費	6,024,213	4,272,795	4,688,714
医薬材料費	10,961	0	0
役務費	824,735	807,338	879,031
植栽管理費	16,012,985	16,145,850	15,520,900
設備管理費	2,731,890	2,534,930	2,429,090
清掃管理費	2,850,435	2,817,045	1,344,735
使用料・賃借料	1,559,095	1,469,963	1,116,279
原材料費	777,000	102,900	262,500
備品購入費	587,748	208,950	411,705
その他の委託費	2,877,828	2,965,608	2,556,108
その他の経費	2,381,022	1,845,696	1,836,833
支出計	68,306,338	70,848,886	68,192,422
収支	444,027	-1,803,479	-2,130,443

施　設　の　名　称	施　設　所　管　課
⑦北山公園	商工観光課
	指　定　管　理　者
	笠間市造園建設業協同組合（公募）
設　置　目　的	**指　定　期　間**
市民が自然に親しみつつ，観光レクリエーション及びスポーツ活動を行うこと。	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（平成 18 年 9 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	200,683 人（1日平均593人）	162,691 人（1日平均455人）	△18.9

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22 年度 金　額（円）	23 年度 金　額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	15,600,000	15,000,000	△600,000	△3.8
諸　収　入	1,684,819	1,513,877	△170,942	△10.1
収　入　計	17,284,819	16,513,877	△770,942	△4.5
（支出）				
管理運営経費	17,243,679	15,985,076	△1,258,603	△7.3
支　出　計	17,243,679	15,985,076	△1,258,603	△7.3
収　　支	41,140	528,801	487,661	1185.4

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・日常点検は，漫然とした巡視にならないよう留意し，安全かつ快適に利用できる環境整備に努めた。
・売店運営については，アンケート調査を基に，利用者ニーズに応えた商品の充実を図った（キャンプ場・バーベキュー場利用者への炭の販売等）。
・水生植物エリアにおいて，基本整備を随時行うとともに，ゲンジボタルの里づくり実行委員会と共同でホタルの生態系保全に努めた。
・緑地エリアにおいて，樹木の下枝剪定の継続による，木漏れ日が入る森林エリアの復旧を行った。
・周辺道路も公園施設の一部という視点から，園内草刈時に道路の草刈も実施し，公園の周辺一帯がきれいな状態になるよう心がけた。
・平成 22 年度から，ゲンジホタルの里づくり実行委員会と共同主催により，ホタルの鑑賞会を実施しており，好評であることから，今後も継続していく。
・笠間芸術の森公園で毎年開催される都市緑化祭に参加し，北山公園動植物の展示を行いＰＲ活動をした。
・施設の維持管理に係る「北山公園作業手順書」を作成し，危険・無理・無駄のない効率的で安全な作業の実施と質の高い管理の実現を図った。

利用者の声【利用者の評価について】

・遊具の増設の要望があった。
　⇒震災により破損したローラー滑り台については復旧となったが，耐用年数等を考慮した計画的な遊具の設置や管理が必要となるため市と協議，検討をしていく。
・水生植物の劣化の指摘があった。
　⇒植生位置の不具合や過去の不適切管理が原因と考えられるため，復旧，改良（株分け・移植等）を継続していく。

施　設　所　管　課　の　総　評

・組合がもつ専門的知識や経験を最大限に活かし，施設の設置目的達成のために公園の素材や機能を効果的に活用した管理運営に努めること。
・点検等の日常管理においては，破損箇所や利用方法の誤りから起こりえる事故を未然に防ぐよう努めること。
・事務職員及び作業スタッフは，施設の概要，利用上の基本ルールを把握し，利用者からの質問等に率先的に対応できるよう努めること。

＜参考資料＞

施設の名称	北山公園		
施設所在地	笠間市平町1416番地1		
施設概要	主な施設：休憩施設，展望塔，キャンプ場，バーベキュー場，ローラーすべり台，板谷波山ロケセット　管理面積：86,980㎡		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	212,071　人	200,683　人	162,691　人
年間稼動日数	357　日	356　日	357　日
事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	15,600,000	15,600,000	15,000,000
その他収入	727,652	1,684,819	1,513,877
収入計	16,327,652	17,284,819	16,513,877
人件費	4,949,999	5,312,399	5,523,279
消耗品費	560,372	863,658	377,277
水道光熱費	1,251,204	1,208,980	1,101,769
印刷製本費	17,600	73,500	40,320
修繕費	174,500	156,400	114,300
通信運搬費	296,011	221,003	223,508
業務委託費	1,546,720	1,853,000	1,507,050
損害保険料	549,310	545,000	549,310
事業費（植物管理）	6,670,163	5,368,100	5,246,750
イベント経費	224,717	228,458	0
北山売店（商品仕入）	0	1,413,181	1,301,513
支出計	16,240,596	17,243,679	15,985,076
収支	87,056	41,140	528,801

施設の名称	施設所管課
⑧笠間市いこいの家「はなさか」	社会福祉課
	指定管理者
	(社)笠間市社会福祉協議会（公募）
設置目的	指定期間
住民の健康増進や地域の交流など住民の癒しの場として便宜を総合的に供与し，もって福祉の増進を図ること。	平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで（平成 18 年 9 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	63,489 人（1日平均223人）	74,482 人（1日平均 249 人）	17.3

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区分	22 年度 金額（円）	23 年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	29,550,000	29,550,000	0	0
利用料	24,967,550	29,507,950	4,540,400	18.2
売店収入等	7,231,895	8,160,985	929,090	12.8
その他収入	6,901,388	－	－	－
収入計	68,650,833	67,218,935	△1,431,898	△2.1
（支出）				
管理運営経費	69,838,822	67,389,676	△2,449,146	△3.5
支出計	69,838,822	67,389,676	△2,449,146	△3.5
収支	△1,187,989	△170,741	1,017,248	△85.6

※利用料金制度導入
※平成 22 年度のその他収入は，ボイラー及び冷房の修繕に係る市からの負担金収入。
※平成 23 年度収支は，支出計にみなし寄付金の損金算入（200 万円）が含まれるため，実質収支は黒字となります。

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・スタッフは，利用者に対し常に笑顔で接し，楽しく，安心して利用していただけるよう「目配り，気配り，心配り」を忘れず，声かけをするなど，利用者の動向に気を付けた。
・昨年度に引き続き，福祉や医療保健関係の情報コーナーを設置したり，保健師による健康相談を実施したりするなど，利用者のサービス向上を図った。
・利用者が増加した一方で，館内の節電に努めたことにより，水道光熱費は昨年度より約 30 万円減額となった。

利用者の声【利用者の評価について】

・施設利用者満足度調査を実施した（細かい要望等が多数，施設の管理状態（環境，風呂衛生，トイレ衛生）・従業員対応については適切との評価多数）。
⇒対応可能な要望等については随時対応し，よい評価を得たところは継続して行った。

施設所管課の総評

・福祉や医療関係のサービス実施など利用者層に合わせた事業展開が図られていることは評価できる。
・東日本大震災後，避難所として被災者を積極的に受け入れ，地域に密着した施設としての認知度が向上したことは評価できる。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市いこいの家「はなさか」		
施設所在地	笠間市橋爪586番地4		
施設概要	構造・規模：鉄筋コンクリート造一部木造平屋建 敷地面積：１１，３２４㎡ 延床面積：　１，３７３㎡		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	67,732　人	63,489　人	74,482　人
年間稼動日数	295　日	284　日	298　日
事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	29,550,000	29,550,000	29,550,000
利用料	26,930,800	24,967,550	29,507,950
使用料	3,083,607	2,957,925	3,213,932
売店収入	3,612,405	3,675,325	4,189,228
雑収入	599,115	598,645	757,825
負担金収入		6,901,388	0
借入金収入		0	
収入計	63,775,927	68,650,833	67,218,935
当期商品仕入高	2,645,319	2,733,397	3,020,062
人件費	20,653,054	21,078,957	21,688,458
福利厚生費	111,460	173,376	140,970
消耗品費	3,464,273	3,358,901	3,917,921
器具什器費	0	6,353,550	238,750
印刷製本費	157,500	168,000	73,500
水道光熱費	13,248,673	13,339,272	13,008,509
燃料費	10,746,294	11,512,887	12,622,463
車輌費	211,171	230,596	500,448
修繕費	413,326	2,075,755	954,849
通信運搬費	116,548	122,187	116,002
広報費	52,500	53,550	118,650
業務委託費	6,582,393	5,731,784	5,450,768
手数料	0	0	70,000
損害保険料	241,180	198,820	235,410
賃借料	1,752,339	1,304,670	1,250,753
租税公課	1,966,499	689,200	1,262,003
諸会費	4,000	4,000	7,000
雑費	21,000	7,080	0
固定資産取得支出	0	0	0
社会福祉事業会計繰入金支出	683,160	702,840	2,713,160
長期運営資金借入償還金支出	730,476	0	0
支出計	63,801,165	69,838,822	67,389,676
収支	-25,238	-1,187,989	-170,741

施設の名称	施設所管課
⑨あたご天狗の森スカイロッジ	商工観光課
	指定管理者
	（社）笠間観光協会（公募）
設置目的	**指定期間**
地域住民及び観光レクリエーションの振興に資すること。	平成19年4月1日から平成24年3月31日まで（平成16年4月1日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区分	22年度	23年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	9,376人（1日平均25人）	9,698人（1日平均26人）	3.4

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区分	22年度 金額（円）	23年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	0	0	0	
利用料・諸収入	30,158,859	31,588,130	1,429,271	4.7
繰越金	730,347	597,765	△132,582	△18.2
収入計	30,889,206	32,185,895	26,493	4.2
（支出）				
管理運営経費	30,291,441	31,681,525	1,390,084	4.6
支出計	30,291,441	31,680,525	1,390,084	4.6
収支	597,765	505,370	△92,395	△15.5

※利用料金制度導入

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・各種宿泊プランの企画や利用者向けサービスの実施など，稼働率アップに向けた事業展開及び近隣自治体での営業活動をした結果，総売上額が平成23年度目標額（31,510,000円）に対し，100.0%（31,522,569円・前年比104.6%），利用者数が目標に対し101.1%（前年比103.4%）となった。
※実施宿泊プラン及び利用者向けサービス
○洋食屋さんの夕食無料プラン（5/9～6/30：実績 58棟，利用者379人）
○秋の味覚満載プラン（10/2～11/30：実績 7棟，利用者36人）
○お鍋でぽっかぽかキャンペーン（12/1～12/17，1/11～3/18：実績 68棟，利用者446人）
○Xmasプラン（12/17～12/25：実績 59棟，利用者252人）
○宿泊者向けカブトムシ・クワガタの無料配布（7月下旬～8月中旬）
○宿泊者向けゆずプレゼント（11月中旬～12月中旬）

利用者の声【利用者の評価について】

・加湿器があるとよいという要望があった。
⇒導入の方向で検討する。
・コンセントの位置が分かりづらいとの意見があった。
⇒意見等に挙がった不便・不明な点について，チェックイン時に説明することで速やかに対応した。
・ロッジ前の木が景観を邪魔しているとの意見があった。
⇒敷地内の枝打ちについては，職員により計画的に実施している。

施設所管課の総評

・施設の維持管理・運営が適正に行われた。
・宿泊の売上目標は惜しくも99.6%と目標を達成できなかったが，震災後の厳しい状況の中，新たな企画事業や事業所への営業活動により，総売上・利用者数の目標を達成しており評価できる。
・今後も稼働率アップに向けた新企画や利用者向けサービスの充実及びＰＲ活動などの事業を展開し，目標達成に向けて営業努力をすること。
・当初の事業計画に企画されていた地域住民との交流を取り入れた事業などの展開もするとよい。

＜参考資料＞

施設の名称	あたご天狗の森スカイロッジ		
施設所在地	笠間市上郷2775番地7		
施設概要	管理棟【木造286.03㎡】，12人棟（2棟）【木造71.28㎡】，6人棟（4棟）【木造60.40㎡】，4人棟（4棟）【木造47.45㎡】，バーベキュー広場（8基）		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	9,538　人	9,376　人	9,698　人
年間稼動日数	365　日	365　日	366　日
事業収支詳細　（単位：円）			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用料	30,492,198	29,905,640	31,372,070
諸収入	230,472	253,219	216,060
繰越金	193,029	730,347	597,765
収入計	30,915,699	30,889,206	32,185,895
人件費	12,636,260	13,927,721	13,039,579
消耗品費	1,607,019	1,353,411	1,857,330
修繕費	454,909	653,229	1,035,681
雑費	298,030	261,128	415,996
光熱水費	2,856,572	3,064,254	2,751,206
燃料費	1,297,562	1,352,095	1,310,955
通信運搬費	487,782	370,391	307,356
保険料等	54,448	4,627	46,558
業務委託費	2,999,932	2,975,863	3,132,929
使用料	2,627,089	2,732,160	2,786,086
原材料費	2,292,415	2,126,994	2,503,062
事務手数料	500,000	500,000	1,000,000
公課費	961,000	823,700	727,800
旅費	14,600	1,600	0
印刷製本費	808,710	70,770	293,812
事業経費	289,024	73,498	472,175
支出計	30,185,352	30,291,441	31,680,525
収支	730,347	597,765	505,370

施　設　の　名　称	施　設　所　管　課
⑩笠間クラインガルテン	農政課（農政企画室）
	指　定　管　理　者
	茨城中央農業協同組合（公募）
設　置　目　的	**指　定　期　間**
地域住民と観光農業の振興及び市民と都市住民との交流を図ること。	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（平成 18 年 3 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
農園利用契約者数	100 人	100 人	0
簡易宿泊施設利用者	50 人	50 人	
日帰り農園利用者	50 人	50 人	
クラブハウス利用状況			
利用回数	651 回	305 回	△53.1
延利用者数	11,947 人	8,291 人	△30.6
多目的交流施設利用状況			
利用回数	93 回	60 回	△35.5
延利用者数	272 人	166 人	△39.0
農産物販売所・そば処利用状況			
延利用者数	42,229 人	30,293 人	△28.3

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22 年度 金額（円）	23 年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	0	0	0	
利用料等	21,715,357	21,852,890	137,533	0.6
販売額等	45,324,602	42,469,465	△2,855,137	△6.3
収入計	67,039,959	64,322,355	△2,717,604	△4.1
（支出）				
管理運営経費	20,267,163	18,523,138	△1,744,025	△8.6
管理運営経費（農産物販売所・そば処）	46,019,202	42,995,025	△3,024,177	△6.6
支出計	66,286,365	61,518,163	△4,768,202	△7.2
収支	753,594	2,804,192	2,050,598	272.1
※利用料金制度導入				

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・宿泊施設付き市民農園及び日帰り市民農園とも全区画の利用者を確保することができた。
・農園利用者と地域住民との交流促進のため，栽培講習会や各種イベント等を年間 123 回開催し，延べ 2,195 人の参加を得た。
・新聞 9 件，書籍・情報誌 6 件，インターネット関係 2 件，合計 17 件のマスコミ対応や麻布十番まつり（東京都港区）への参加によりＰＲ活動に努めた。また，視察については，24 件(289 人)を受け入れた。
・ＪＡ管内直売所との連携による農産物販売所の品揃えの充実と特売イベントによる集客促進を図った。
・農協観光との連携による農業体験ツアー（首都圏消費者対象）の開催や農業体験の受入れを実施した（実績：いちご狩り 1,199 名，ブルーベリー摘み取り 125 名，栗拾い 23 名，りんご狩り 45 名）。
・笠間観光協会と連携し「笠間発見伝・そば打ち体験」の受入れを実施した。

利用者の声【利用者の評価について】

利用者との意見交換会を開催した。
・ホームページの更新がなく，利用者に対するお知らせもクラインガルテン内の掲示板に掲示されるのみであり，情報を入手しづらいなど，クラインガルテンからの情報発信が十分になされていないとの意見があった。
⇒クラインガルテンのホームページは市で管理していたが，よりリアルな情報を発信できるよう指定管理者で更新する体制とした。行事や日常の出来事を発信できるよう「笠間クラインガルテン日記」のブログを立ち上げ，情報発信を強化した。

施　設　所　管　課　の　総　評

・利用者との意見交換会における要望等への対処など，利用者の満足度を高めるような運営内容の充実に努めている。今後も意見交換会を定期的に実施し，市民農園の利用率 100%を維持すること。
・施設の修繕において，優先順位をつけて実施するなど適正に執行されている。
・農産物の特売等定期的にイベントを実施しているが，来客数が伸びない状況である。積極的な広報活動等により利用促進を図り，イベント開催の効果を出すともに，利用者アンケート等により要望を把握すること。
・ホタル飛翔時期の営業時間の延長など，効果の大きい取組は引き続き実施し，健全経営に努めること。
・事業計画に基づき，自主事業の取組等を計画的に進めること。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間クラインガルテン
施設所在地	笠間市本戸4258番地
施設概要	・宿泊施設付き市民農園【50区画】 ・日帰り市民農園【50区画】 ・農産物加工施設 ・炭焼き施設 ・クラブハウス【木造平屋 272㎡】 ・産地形成促進施設（農産物販売所）【木造平屋 120㎡，売場面積60㎡】 ・地域食材供給施設（そば処）【木造平屋 150㎡，客席数60席】 ・その他付随する施設

運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
農園利用契約者数	100 人	100 人	100 人
延利用者数	48,093 人	42,229 人	30,293 人
年間稼動日数	311 日	309 日	310 日

事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
農園利用料	20,500,000	20,500,000	20,513,100
施設利用料	187,000	459,492	640,900
水光熱使用料	795,288	632,554	682,490
農園雑収入	500	123,311	16,400
販売高	52,891,783	45,067,489	42,319,798
雑収入	257,798	257,113	149,667
収入計	74,632,369	67,039,959	64,322,355
（農園施設関係）			
人件費	5,463,223	7,677,896	4,978,004
事業イベント費	2,259,833	2,363,383	1,647,223
業務研修費	506,045	413,178	379,092
農園管理費	286,573	225,505	74,046
労務管理費	4,971,652	2,161,540	3,188,630
施設備品費	109,783	154,599	230,565
施設修繕費	383,547	2,028,367	1,103,069
施設管理費	5,844,427	4,875,841	5,591,506
車両費	251,055	303,793	308,499
雑　費	0	63,061	37,756
共通管理費			984,748
（農産物販売所，そば処関係）			
販売原価	36,453,983	28,333,470	26,076,494
人件費	1,258,602	1,687,770	1,244,484
労務費	12,394,071	11,654,585	10,889,812
業務費	961,441	1,277,367	809,608
施設費	3,195,578	3,027,580	2,572,673
雑　費	327,530	38,430	326,783
減価償却費	87,704	0	0
共通管理費			1,075,171
支出計	74,755,047	66,286,365	61,518,163
収支	-122,678	753,594	2,804,192

施設の名称	施設所管課
⑪笠間工芸の丘	商工観光課
	指定管理者
	笠間工芸の丘（株）（非公募）
設置目的	**指定期間**
地場産業と観光の振興を図ること。	平成 18 年 3 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（平成 18 年 3 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	203,800 人（1 日平均 661 人）	236,690 人（1 日平均 756 人）	16.1

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22 年度 金　額（円）	23 年度 金　額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	9,500,000	9,500,000	0	0.0
売上高等	214,270,863	230,379,010	16,108,147	7.5
収入計	223,770,863	239,879,010	16,108,147	7.2
（支出）				
管理運営経費	231,308,705	230,637,216	△671,489	△0.3
支出計	231,308,705	230,637,216	△671,489	△0.3
収　支	△7,537,842	9,241,794	16,779,636	△222.6

※収支は，税引前当期損益
- H22 年度当期損失：7,849,542 円
- H23 年度当期利益：8,663,894 円

※利用料金制度導入

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

- 笠間市の観光と地場産業の振興を目指した中核施設として，地域の繁栄に貢献するとともに，利用者の期待にも応えられることを目標に，積極的な情報発信と営業活動を展開した。
- 北関東自動車道が全線開通したことから，栃木・群馬方面の情報発信を強化した。
- 工芸品を中心とした地場産品の取扱いを主体としている中で，ニーズに応えられる商品構成と独自の品揃えに努め，話題作家の企画展を開催するなど販促を行ったが，高額商品の動きが依然として低迷した。
- 新聞・雑誌への宣伝やホームページの活用，学校への出張陶芸体験の取組や県内の小学校・幼稚園・保育所への案内状送付など，利用者拡大に努めた。

利用者の声【利用者の評価について】

- 要望及び苦情等は，ファックス及びメールなどで随時受け付ける体制を整えており，軽微な要望・苦情等はあったが，すべてその場で解決できる内容であった。

施設所管課の総評

- 震災後という状況下において，情報発信の強化としては十分な効果があったと評価できる
- 笠間焼の販売が低迷する中，話題作家の企画展を開催するなど笠間焼の振興に寄与した。
- 植栽管理を指定管理の一環として実施（平成 20 年度～）したことで，引き続き施設の実情に合わせた管理ができた。

事　業　報　告　書

（第１５期）

自　平成23年 4月　1日
至　平成24年 3月 31日

笠間工芸の丘株式会社

笠 間 工 芸 の 丘 株 式 会 社

第15期　事業報告書（平成23年4月1日より平成24年3月31日まで）

平成10年の創業以来、皆様方の温かいご支援をいただきながら、第15期の決算年度を終了できましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

当会計年度における国内の経済は、東日本大震災の被災状況の把握や早期の復興支援が求められる状況下にありましたが、同時に起きた原子力発電所の事故による放射能漏れや地震によるライフラインのストップもあって情報が混乱し、極めて緩やかな復興状況になりました。

世界経済も欧州各国の財政不安の高まりから、発展を続けてきた新興国の経済にも悪影響を及ぼすことになり、円高是正と雇用環境の改善が図れず経営環境は一段と厳しい状況になりました。

このような経営環境の下で、首都圏と近距離に位置する県内有数の観光地笠間の中心地に位置し、笠間芸術の森公園や茨城県陶芸美術館が隣接する利点を活かし、「笠間市の中核施設として、笠間工芸の丘建設の趣旨にそって、地場産業と観光の振興を目指し地域産業の繁栄に貢献でき、お客様の期待にも応えられる企業となる。」ことを目標に強い意志のもとに、多くの企画展を開催し積極的な情報発信と営業活動を展開いたしました。

来場者数では、春の行楽期からゴールデンウイークの陶炎祭、菊まつりや匠のまつり・お正月の彩初窯市など例年のイベントが開催されましたが、原子力事故の風評被害の影響等から、復興支援をテーマに開催した陶炎祭や新企画のB級グルメのイベントを除き、総じて来場者は低調に推移しました。

年間を通した来場者数は、北関東自動車道路の全線開通による効果やB級グルメの集客効果もあって、236，690人（32，890人増加）になりました。

消費行動の多様化や周辺の観光地拠点との競合が激化する中で、新聞・雑誌への広告宣伝やホームページを利用した PR 等を行いました。特に北関東自動車道の全線開通による、群馬・栃木方面への情報発信を強化しました。

陶芸体験では、学校への出張体験を実施したほか、県内の小学校・幼稚園・保育所あてに陶芸体験や校外学習にご利用いただくため、案内状を送付するなど利用者の拡大に努めました。

なお、体験工房の利用者数は15，399人と前年に比べて774人（4．8%）減少いたし

ました。

今期の業績は、取扱商品が工芸品を中心にした地場産品が主体となっていますので、実体経済の悪化と東日本大震災による消費行動の変化の影響を受け高額商品の動きが低迷しました。お客様のニーズに応えられる商品構成と当社独自の品揃え、話題作家の企画展の開催、そして皆様に愛される施設運営を目指して努力いたしましたが、ここ数年の頭打ち傾向と消費の減退が生じる結果となりました。

売上高は、227，816千円となり、前期の実績を4，634千円（2．1%）増加いたしましたが、東日本大震災が発生した昨年の落ち込み分23，486千円の19．7%を回復したにすぎません。

内容は、物販部門全体の売上は143，775千円となり、前年比8，170千円（6．0%）増加しました。

工房部門の売上は41，010千円で、昨年に引続き陶芸体験者数の減少が続いており3，305千円（7．5%）と大幅な売上減少となりました。

手数料収入では、芸術の森公園のインフォメーションセンター運営を含めた管理手数料並びに工芸の丘指定管理料（芝生・樹木管理）に加え、自動販売機販売手数料等とともに43，031千円を収入しました。

売上原価は、86，875千円となりました。原価率は38．1%となり前期の原価率37．4%を若干上回りました。

したがって、売上総利益は140，942千円となり、前期比で1，219千円（0．9%）増加いたしました。

次に、販売費及び一般管理費は、143，574千円となり、前期に比較して2，863千円(2．0%)減少いたしました。

営業損失は、2，632千円となり、前期の営業損失6，714千円と比較して60．8%改善いたしました。

営業外収支では、営業外収益におきまして原子力発電所事故の風評被害に伴う売上減少額見合いの逸失利益額を、東京電力(株)に対して損害賠償金として請求し収入できたことにより、営業外費用を差し引いた収支は11，874千円となりました。

これらの状況から、経常利益は9，242千円となり、法人税等充当額578千円を充当した結果、当期利益は8，663千円になりました。
東日本大震災の原子力事故による影響が引き続いている決算になりました。

これらの結果、前期末の繰越利益剰余金8，481，355円は、第14期定時株主総会の議決に基づく別途積立金400，000円の利益処分のほか、当期純利益8，663，894円を加え、当期末繰越利益剰余金は16，745，249円となりました。

なお、今期の税負担の状況は、消費税5，294，600円のほか、法人税・県民税・市民税合わせて577，900円の合計　5，872，500円となります。

来期も、笠間市の観光振興と地場産業の発展に十分な役割が果たせるよう、従業員一同、一層の努力を傾注してまいる所存でございます。
引続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、第15期の決算書とともにご報告申し上げます。

決　算　報　告　書

（第１５期）

自　平成 23年 4月　1日
至　平成 24年 3月 31日

笠間工芸の丘株式会社

笠間工芸の丘株式会社

貸　借　対　照　表

平成 24 年　3 月　31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【121,723,294】	【流動負債】	【22,879,804】
現金及び預金	69,563,627	買掛金	7,054,773
売掛金	11,287,723	未払金	4,815,865
未収収益	5,412,231	未払費用	5,929,311
商品（郵券）	33,739,176	未払消費税	2,970,000
原材料	606,502	預り金	1,531,955
貯蔵品	1,114,035	法人税等充当金	577,900
【固定資産】	【930,559】		
(有形固定資産)	(930,559)	負債の部合計	22,879,804
建物付属設備	215,347	純資産の部	
車輌運搬具	1		
工具器具備品	242,711	【株主資本】	【99,774,049】
ブロンズ像	472,500	(資本金)	(20,000,000)
		資本金	20,000,000
		(利益剰余金)	(79,774,049)
		利益準備金	100,800
		別途積立金	75,000,000
		役員退職給与積立金	2,000,000
		自己株式	△14,072,000
		繰越利益剰余金	16,745,249
		純資産の部合計	99,774,049
資産の部合計	122,653,853	負債及び純資産の部合計	122,653,853

笠間工芸の丘株式会社

損　益　計　算　書

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

科　　目		金　　額	
			円
【純　売　上　高】			
売上高（物販）		143,775,357	
売上高（工房）		41,009,959	
売上高（手数料		41,902,419	
売上高（駐車料）		1,128,577	227,816,312
【売　上　原　価】			
期首棚卸高		34,329,452	
商品仕入高（物販）		83,482,269	
当期製品製造原価		2,802,195	
合　　計		(120,613,916)	
期末棚卸高		33,739,176	86,874,740
	売上総利益		(140,941,572)
【販売費及び一般管理費】			143,573,506
	営業損失		(2,631,934)
【営　業　外　収　益】			
受取利息		34,031	
受取配当金		41,074	
雑　収　入		11,987,593	12,062,698
【営　業　外　費　用】			
雑　損　失		188,970	188,970
	経常利益		(9,241,794)
	税引前当期利益		(9,241,794)
	法人税等充当額		577,900
	当期利益		(8,663,894)

笠間工芸の丘株式会社

販売費及び一般管理費

自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月 31日

科目	金額	
		円
役員報酬	4,800,000	
給料手当	63,082,937	
賞与	13,499,200	
雑給	280,831	
法定福利費	8,629,095	
厚生費	620,361	
中退共	2,592,240	
減価償却費	278,844	
賃借料	3,919,474	
修繕費	2,593,370	
消耗品費	3,652,770	
水道光熱費	8,228,283	
旅費交通費	736,378	
手数料	2,818,340	
受託管理手数料	17,743,938	
租税公課	169,986	
交際接待費	799,414	
保険料	1,202,580	
通信費	905,568	
諸会費	912,050	
会議費	64,058	
広告宣伝費	3,108,171	
荷造運賃	297,256	
雑費	2,638,362	
合計		(143,573,506)

笠間工芸の丘株式会社

製造原価報告書

自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月 31日

科目	金	額
		円
【材料費】		
期首原材料棚卸高	796,260	
材料仕入（工房）	1,988,083	
小計	(2,784,343)	
期末原材料棚卸高	606,502	2,177,841
【外注加工費】		259,048
【製造経費】		
水道光熱費	320,448	
修繕費	44,858	365,306
総製造費用		(2,802,195)
当期製品製造原価		(2,802,195)

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

（ 自 平成23年4月1日　至 平成24年3月31日 ）

単位 円

	株主資本								純資産合計
	資本金	利益剰余金						株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計		
			別途積立金	役員退職給与積立金	自己株式	繰越利益剰余金			
前期末残高	20,000,000	100,800	75,000,000	1,600,000	△14,072,000	8,481,355	71,110,155	91,110,155	91,110,155
当期変動額									
別途積立金の積立				400,000			400,000	400,000	400,000
剰余金の配当									
利益準備金の積立									
当期純損益金						8,663,894	8,663,894	8,663,894	8,663,894
自己株式の取得									
その他変動事由						△400,000	△400,000	△400,000	△400,000
当期変動額合計				400,000		8,263,894	8,663,894	8,663,894	8,663,894
当期末残高	20,000,000	100,800	75,000,000	2,000,000	△14,072,000	16,745,249	79,774,049	99,774,049	99,774,049

笠間工芸の丘株式会社

個　別　注　記　表

自 平成 23 年　4 月　1 日
至 平成 24 年　3 月 31 日

Ⅰ．重要な会計方針に係わる事項

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

1．資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。）

イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による低価法を採用しています。

2．固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。
ただし、平成１０年４月１日以後に取得した建物（付属設備を除く）については旧定額法、平成１９年４月１日以後に取得した建物（付属設備を除く）については定額法を採用しております。

無形固定資産　　法人税法の規定による定額法

3．引当金の計上基準

貸倒引当金　　債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

4．その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引についてはリース料相当額を資産計上及び同額をリース負債として処理をしております。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

5．会計方針の変更

① 役員賞与に関して、剰余金を減少させる会計処理から発生時に費用として会計処する方法に変更しました。

6．保証債務、手形遡及債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務等の内容及び金額

該当なし。

受取手形割引高　　０円
受取手形裏書譲渡高　　０円

監　査　報　告　書

平成２４年5月２２日

笠間工芸の丘株式会社
　代表取締役　友　部　正　孝　様

監査役　長岡　修　（印）

私、監査役は、平成２３年４月１日から平成２４年３月３１日までの第１５期営業年度の貸借対照表、損益計算書、事業報告書、株主資本等変動計算書、当期末繰越利益剰余金の積立金繰り入れなど、関係書類を監査した結果、適法かつ正確であると認めます。

以　上

施設の名称	施設所管課
⑫笠間市営笠間駅北口自転車駐車場 ⑬笠間駅北口駐車場	市民活動課
	指定管理者
	（社）笠間観光協会（非公募）

設置目的	指定期間
⑫駅周辺の環境整備を図るとともに，自転車利用者の利便に資すること。 ⑬市民及び観光客の利便に資すること。	平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで （平成 19 年 4 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
利用台数			
自動車			
月極(延)	470 台	462 台	△1.7
一　時	3,329 台	2,733 台	△17.9
自転車			
月極(延)	1,898 台	1,715 台	△9.6
一　時	7,217 台	6,864 台	△4.9
オートバイ			
月極(延)	83 台	56 台	△32.5
一　時	225 台	232 台	3.1

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22 年度 金額（円）	23 年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）指定管理料	2,908,500	2,908,500	0	0.0
収入計	2,908,500	2,908,500	0	0.0
（支出）管理運営経費	2,908,500	2,908,500	0	0.0
支出計	2,908,500	2,908,500	0	0.0
収支	0	0	0	0.0
市の収支（利用料金制度未導入より使用料は市の収入）				
（収入）使用料	7,450,050	6,719,100	△730,950	△9.8
（支出）指定管理料	2,908,500	2,908,500	0	0.0
収支	4,541,550	3,810,600	△730,950	△16.1

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・指定管理に関する協定に基づき，施設の維持管理，利用料金の徴収業務を適正に行った。
・盗難，いたずらに特に注意して見回りを行うとともに，問題等があった際には，市と情報共有のもと，素早く対処した。

利用者の声【利用者の評価について】

・係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが，苦情，要望については特になかった。

施設所管課の総評

・業務内容に基づき適正に業務を遂行している。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市営笠間駅北口自転車駐車場， 笠間駅北口駐車場		
施設所在地	笠間市下市毛288番地10		
施設概要	(自転車駐車場) 構造：鉄骨造，面積：370㎡ (駐車場) 構造：AS舗装，面積：2,005.07㎡		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	自動車4,220台，自転車8,974台，バイク411台	自動車3,799台，自転車9,115台，バイク308台	自動車3,195台，自転車8,579台，バイク288台
年間稼動日数	362　日	362　日	363　日
事業収支詳細　(単位：円)			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	2,908,500	2,908,500	2,908,500
収入計	2,908,500	2,908,500	2,908,500
人件費	2,822,711	2,828,655	2,794,795
通信運搬費	60,348	56,388	82,280
手数料	25,441	23,457	31,425
支出計	2,908,500	2,908,500	2,908,500
収支	0	0	0

施設の名称	施設所管課
⑭笠間市営稲田駅前自転車駐車場 ⑮稲田駅前駐車場 ⑯福原駅前駐車場	市民活動課
	指定管理者
	ＪＲＯＢ会（非公募）
設置目的	**指定期間**
⑭駅周辺の環境整備を図るとともに，自転車利用者の利便に資すること。 ⑮⑯市民及び観光客の利便に資すること。	平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで（平成 19 年 4 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率（%）
利用台数			
【稲田駅】			
自動車			
月極(延)	166 台	53 台	△68.1
一　時	2,720 台	2,760 台	△1.5
自転車			
月極(延)	143 台	170 台	18.9
一　時	818 台	915 台	11.9
オートバイ			
月極(延)	14 台	8 台	△42.9
一　時	53 台	34 台	△35.8
【福原駅】			
自動車			
月極(延)	50 台	48 台	△4.0
一　時	5,650 台	4,824 台	△14.6

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22 年度 金額（円）	23 年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	2,866,500	2,866,500	0	0.0
収入計	2,866,500	2,866,500	0	0.0
（支出）				
管理運営経費	2,866,500	2,866,500	0	0.0
支出計	2,866,500	2,866,500	0	0.0
収支	0	0	0	0.0
市の収支（利用料金制度未導入より使用料は市の収入）				
（収入）				
使用料	2,573,760	2,300,270	△273,490	△10.6
（支出）				
指定管理料	2,866,500	2,866,500	0	0.0
収支	△292,740	△566,230	△273,490	93.4

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・指定管理に関する協定に基づき，施設の維持管理，利用料金の徴収業務を適正に行った。
・日々の見回りの中で，無断駐車等問題があった場合は，注意・指導するなど適切に対処するとともに，市へ報告をした。
・稲田駅前駐車場の自動車（月極）の利用者が大きく減少しているのは，平成 22 年度は法人利用（稲田駅工事関係）があったが，平成 23 年度はなかったことによる。

利用者の声【利用者の評価について】

・係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが，苦情，要望については特になかった。

施設所管課の総評

・業務内容に基づき適正に業務を遂行している。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市営稲田駅前自転車駐車場，稲田駅前駐車場， 福原駅前駐車場		
施設所在地	（稲田駅前自転車）笠間市稲田2307番地9 （稲田駅前）笠間市稲田2307番地12 （福原駅前）笠間市福原2129番地9		
施設概要	（稲田駅前自転車駐車場）構造：鉄骨造，面積：192.5㎡ （稲田駅前駐車場）構造：AS舗装，面積2,027㎡ （福原駅前駐車場）構造：AS舗装，面積：1,886㎡		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	稲田駅：自動車3,012台，自転車1,101台， バイク89台　福原駅：自動車4,925台	稲田駅：自動車2,886台，自転車961台， バイク67台　福原駅：自動車5,700台	稲田駅：自動車2,813台，自転車1,085台， バイク42台　福原駅：自動車4,872台
年間稼動日数	日	365　日	366　日
事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	2,866,500	2,866,500	2,866,500
収入計	2,866,500	2,866,500	2,866,500
人件費	2,866,500	2,866,500	2,866,500
支出計	2,866,500	2,866,500	2,866,500
収支	0	0	0

施設の名称	施設所管課
⑰笠間市障害福祉センターともべ	社会福祉課
	指定管理者
	(社)笠間市社会福祉協議会（非公募)
設置目的	指定期間
市内に居住する心身障害者社会参加を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで（平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】

区分	22 年度	23 年度	前年度比 増減率 (%)
利用者数 (年度末現在)	19 人	18 人	△5.3
延利用者数	3,860 人	3,705 人	△4.0

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区分	22 年度 金額 (円)	23 年度 金額 (円)	前年度比 増減額 (円)	前年度比 増減率 (%)
(収入)				
指定管理料	19,620,000	18,444,227	△1,175,773	△6.0
参加費	38,200	42,800	4,600	12.0
その他収入	1,000,000	−	−	−
収入計	20,658,200	18,487,027	△2,171,173	△10.5
(支出)				
管理運営経費	20,658,200	18,487,027	△2,171,173	△10.5
支出計	20,658,200	18,487,027	△2,171,173	△10.5
収支	0	0	0	

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・市と連携を図りつつ，保護者の意思を尊重しながら業務に当たった。
・作業訓練(空き缶回収，珍味・ボールペン等梱包作業，チラシ袋入れ，クッキー・花壇作り等)を障害レベルに応じて実施した。
・生活訓練(日直・清掃当番，調理実習，買い物学習，屋外研修，習字，生花，茶道，陶芸，ミュージックケア等)を日々の繰り返しにより実施した。
・行事，レクリエーション等(各種団体との交流会，ふれあい親子旅行，果物狩り，味噌作り，福祉作業所交流，デイサービスとの交流，市の行事参加等)を行い，季節感のある行事と地域交流をとおして社会性を高めた。
・健康指導(住民健診，保健師・栄養士指導，歯科指導，リハビリ体操等)を行った。
・館内の節電に努めたことで，水道光熱費は昨年度より約 24 万円減額となった。

利用者の声【利用者の評価について】

・知的障害者父母の会との連携や保護者との連絡を密にすることで，相談などに対して随時適切に対応した。
・通所生の保護者が高齢のため，今後の送迎等の問題がある。

施設所管課の総評

・障害者の社会参加の場所として，生活訓練・作業訓練（生産活動）などを行う福祉的就労の場として，実績がある。
・通所している利用者及び保護者に対し相談や健康指導などの支援も行い，障害者が地域生活をするうえでの重要な役割を果たしている。
・業務実績に基づき指定管理料の減額協定をするなど，経費の削減に努めている。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市障害者福祉センターともべ		
施設所在地	笠間市美原三丁目2番11号		
施設概要	設備：作業所・便所・洗面設備・多目的室など 面積：180㎡		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	3,674　人	3,860　人	3,705　人
年間稼動日数	233　日	233　日	240　日
事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	18,163,800	19,620,000	18,444,227
参加費収入	38,400	38,200	42,800
その他収入	0	1,000,000	
収入計	18,202,200	20,658,200	18,487,027
人件費	15,801,646	17,042,829	16,074,528
福利厚生費	60,000	60,000	48,996
旅費	58,150	48,000	52,400
研修費	23,000	24,516	31,000
消耗品費	226,587	285,629	212,326
器具什器費	0	999,600	0
通信運搬費	15,000	12,000	10,000
業務委託費	54,453	60,000	68,153
諸謝礼	60,000	62,000	45,500
水道光熱費	491,076	618,490	380,056
車両費	70,866	6,300	48,920
燃料費	25,212	72,388	107,160
修繕費	100,280	172,600	148,391
会議費	56,236	57,027	43,735
損害保険料	128,990	134,644	141,810
賃貸料	30,698	30,198	30,198
租税公課	78,900	1,000	51,800
保健衛生費	17,652	7,644	0
教育指導費	248,374	209,495	222,134
退職金積立事業経理区分間繰入金支出	655,080	753,840	769,920
支出計	18,202,200	20,658,200	18,487,027
収支	0	0	0

施　設　の　名　称	施　設　所　管　課
⑱笠間市障害者福祉センターいわま	岩間支所福祉課
	指　定　管　理　者
	(社)笠間市社会福祉協議会（非公募）

設　置　目　的	指　定　期　間
障害者の生活訓練，作業訓練，機能訓練，相談事業を通し，将来に向けて障害者の就労意欲の向上及び社会参加の促進に寄与すること。	平成20年4月1日から平成25年3月31日まで（平成18年9月1日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22年度	23年度	前年度比 増減率（%）
利用者数（年度末現在）	8人	9人	12.5
延利用者数	1,293人	1,473人	13.9

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22年度 金　額（円）	23年度 金　額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	6,584,000	6,809,924	225,924	3.4
収　入　計	6,584,000	6,809,924	225,924	3.4
（支出）				
管理運営経費	6,584,000	6,809,924	225,924	3.4
支　出　計	6,584,000	6,809,924	225,924	3.4
収　　支	0	0	0	

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・作業訓練(フルーツキャップ梱包，空き缶回収，電機部品組立作業，プラスチック製品のバリ取り，取扱説明書折り，野菜・花壇作り等)を実施した。
・生活訓練(日直当番，清掃，調理実習，買い物学習，屋外研修，ムーブメント等)を実施した。
・行事，レクリエーション等(いきいきサービスとの交流会，ふれあい研修，スポーツレクリエーション，映画鑑賞，忘年会，果物狩り，ミュージックケア，市・県の行事参加等)を実施した。
・健康指導(住民健診，保健師・栄養士指導，歯科指導，リハビリ体操等)を行った。
・年間をとおしてコンスタントにフルーツキャップ作業，取扱説明書の折作業の依頼があり，利用者に昨年度を上回る給料を支給できた。
・景気の影響等から，障害者の就職先が見つからない状況が続いている。

利用者の声【利用者の評価について】

・保護者との連絡を密にすることで，相談などに対して随時適切に対応した。
・利用者の要望に応じ，自転車置き場の設置，作業所出入口ドアの改修を行った。

施　設　所　管　課　の　総　評

・障害者の社会参加の場所として，生活訓練・作業訓練（生産活動）などを行う福祉的就労の場として，実績がある。
・通所している利用者及び保護者に対し相談や健康指導などの支援も行い，障害者が地域生活をするうえでの重要な役割を果たしている。
・業務実績に基づき指定管理料の減額協定をするなど，経費の削減に努めている。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市障害者福祉センターいわま
施設所在地	笠間市下郷５１３９－１
施設概要	鉄筋コンクリート造り延床面積３４７．８３㎡ （福祉センター専用部分２８３㎡：共用部分６５㎡） 集会室，図書館作業訓練室，相談室，事務室，和室等

運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	1,146　人	1,293　人	1,473　人
年間稼動日数	227　日	228　日	236　日

事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	5,667,643	6,584,000	6,809,924
収入計	5,667,643	6,584,000	6,809,924
人件費	4,626,747	5,392,839	5,889,172
福利厚生費	10,646	30,000	27,498
研修費	1,650	1,000	18,500
諸謝金	5,000	8,000	5,500
消耗品費	120,064	152,861	152,239
器具什器費	0	111,100	0
通信運搬費	8,000	8,000	1,740
業務委託費	75,510	50,050	57,123
手数料	0	630	0
車両費	21,000	50,925	18,375
燃料費	41,529	47,527	66,963
損害保険料	93,080	109,610	85,110
賃借料	149,291	148,084	119,714
租税公課	20,000	31,800	10,000
教育指導費	224,526	167,374	73,230
退職金積立事業経理区分間繰入金支出	270,600	274,200	284,760
支出計	5,667,643	6,584,000	6,809,924
収支	0	0	0

施設の名称	施設所管課
⑲笠間市地域福祉センター 「笠間市友部社会福祉会館」	社会福祉課
	指定管理者
	(社)笠間市社会福祉協議会（公募）
設置目的	**指定期間**
地域における福祉活動の拠点として，地域住民の福祉ニーズに応じた活動，福祉情報の提供等を総合的に行い，地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。	平成20年4月1日から平成25年3月31日まで （平成18年9月1日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区分	22年度	23年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	27,752人 (1日平均78人)	28,551人 (1日平均78人)	2.9

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区分	22年度 金額（円）	23年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	22,865,000	22,197,000	△668,000	△2.9
収入計	22,865,000	22,197,000	△668,000	△2.9
（支出）				
管理運営経費	22,865,000	22,197,000	△668,000	△2.9
支出計	22,865,000	22,197,000	△668,000	△2.9
収支	0	0	0	0

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・昨年度より土日祝祭日に開館（1月1日～3日は休館）し，年間をとおして市民が利用できる体制としたことにより，より多くの利用者に活用される結果となった。
・一般の利用者に対し，会議室等としての施設の利用許可，ボランティアの活動拠点としての場の提供等施設を有効に活用し，地域住民の福祉の増進を図った。
・不審者に対してのマニュアルを作成し，有事の際に適切な対処ができるよう整備した。

利用者の声【利用者の評価について】

・細かい要望等に対しては随時対応をしている。
・利用者アンケートを実施した結果，ボランティア等福祉活動の拠点として必要な機能を概ね提供できており，好評を得ていることが把握できた一方で，限られた部屋数やスペースの都合，利用を希望する需要に追いついていない状況が見て取れた。

施設所管課の総評

・地域福祉活動の拠点として，適切に運営及び維持管理を行っており，利用者をはじめ地域住民サービスの向上が図られている。
・東日本大震災，避難所として被災者を積極的に受け入れ，地域福祉施設としての認知度が向上したことは評価できる。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市地域福祉センター　「笠間市友部社会福祉会館」		
施設所在地	笠間市美原三丁目2番11号		
施設概要	構造・規模：鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　：1,432.30㎡		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	27,872　人	27,752　人	28,551　人
年間稼動日数	344　日	354　日	363　日
事業収支詳細　（単位：円）			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	23,371,000	22,865,000	22,197,000
収入計	23,371,000	22,865,000	22,197,000
人件費	11,141,752	10,969,951	11,455,000
福利厚生費	30,000	30,000	24,498
消耗品費	661,863	701,608	76,629
器具什器費	0	0	228,690
水道光熱費	3,566,075	3,541,693	3,520,754
燃料費	300,000	0	0
修繕費	2,521,954	2,040,359	1,795,914
通信運搬費	215,702	232,621	38,225
業務委託費	3,357,231	3,508,660	3,320,903
損害保険料	114,000	114,000	114,000
賃借料	607,304	605,414	446,635
租税公課	209,239	401,014	429,952
諸会費	4,000	4,000	3,000
退職金積立事業経理区分間繰入金支出	641,880	715,680	742,800
支出計	23,371,000	22,865,000	22,197,000
収支	0	0	0

施設の名称	施設所管課
⑳笠間市福祉センター「いわま」	岩間支所福祉課
	指定管理者
	(社)笠間市社会福祉協議会（公募）
設置目的	**指定期間**
高齢者の各種相談に応ずると共に健康の増進教養の向上及びレクリエーション等の便宜を総合的に供与し，健康で明るい生活を営ませ，伴わせて地域福祉の向上を図ること。	平成20年4月1日から平成25年3月31日まで（平成18年9月1日から導入開始）

運営状況【有効活用について】

区　分	22年度	23年度	前年度比 増減率（%）
延利用者数	5,790人（1日平均27人）	5,499人（1日平均23人）	△5.0

指定管理者の事業収支【効率的運営について】

区　分	22年度 金額（円）	23年度 金額（円）	前年度比 増減額（円）	前年度比 増減率（%）
（収入）				
指定管理料	10,580,000	10,570,743	△9,257	△0.1
利用料等	1,142,374	1,374,100	231,726	20.3
収入計	11,722,374	11,944,843	222,469	1.9
（支出）				
管理運営経費	11,722,374	11,944,843	222,469	1.9
支出計	11,722,374	11,944,843	222,469	1.9
収支	0	0	0	

※利用料金制度導入

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

・震災の影響により休館したことで，利用者の減少があったが，一般開放日（木曜日）の利用者については，手打ちそばの提供（平成22年度開始）を継続実施したことで増加となった。（平成22年度339人，平成23年度591人）
・木曜日に加え，火曜日も一般開放を行い，157人の利用があった。
・障害者（あおぞら作業所）の月1回の調理実習をはじめ，市・社協事業や講座での施設利用の受入れを行った。
・市のいきいきふれあい通所事業についても，連携のもと介護予防事業としての効果的に業務を行った。

利用者の声【利用者の評価について】

・随時要望・苦情等を受け付けているが，特になかった。

施設所管課の総評

・一般開放日の手打ちそばの提供は，利用者の増加につながっており，経営努力が認められる。
・火曜日にも一般開放を行い，利用者サービスの向上が図られている。
・高齢者の介護予防を図るため，引き続き利用者増となる事業を進めること。

＜参考資料＞

施設の名称	笠間市福祉センター「いわま」		
施設所在地	笠間市泉159番地		
施設概要	昭和52年6月竣工，構造：鉄筋コンクリート造り， 敷地面積5,500㎡，延床面積603.7㎡ 施設設備内容：事務室，相談室，機能訓練室，娯楽室，調理室， 浴室，ボイラー等		
運営状況			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
延利用者数	6,016　人	5,790　人	5,499　人
年間稼動日数	226　日	214　日	232　日
事業収支詳細			（単位：円）
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
指定管理料	10,208,183	10,580,000	10,570,743
利用料	1,081,600	1,118,750	1,374,100
雑収入	7,002	23,624	0
収入計	11,296,785	11,722,374	11,944,843
人件費	4,954,289	4,837,212	4,917,966
福利厚生費	0	45,000	10,000
消耗品費	269,903	467,647	289,128
器具什器費	0	293,500	0
通信運搬費	123,921	117,671	66,919
業務委託費	2,611,471	2,666,065	1,519,247
水道光熱費	1,579,720	1,806,745	1,879,300
車両費	523,265	229,999	165,142
燃料費	425,680	465,395	456,880
修繕費	19,454	283,749	1,849,945
手数料	25,000	525	0
損害保険料	47,970	60,530	76,520
賃借料	122,049	49,926	26,470
租税公課	144,093	-9,280	71,100
諸会費	0	32,000	3,000
保健衛生費	33,600	65,100	5,329
教養娯楽費	49,770	49,770	46,865
給食費	0	0	294,402
経理区分繰入金支出	366,600	260,820	266,630
支出計	11,296,785	11,722,374	11,944,843
収支	0	0	0